

報道関係者各位
(参考資料)

2015年3月16日
株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、IIJ DNSアウトソースサービスにおいて、Webサイトの可用性を高める **「サイトフェイルオーバーオプション」を提供開始**

-- Webサーバへのアクセス先を自動的に振り分け、可用性向上を実現 --

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝 栄二郎、コード番号:3774 東証第一部)は、独自ドメイン名の登録、維持管理に必要な DNS(Domain Name System)サーバの運用を代行する「IIJ DNS アウトソースサービス」の機能を拡張し、Webサーバの稼働状況に応じてアクセス先を自動的に振り分け、Webサイトの安定稼働を実現する「サイトフェイルオーバーオプション」を本日より提供開始します。

DNSとは、ドメイン名とIPアドレスを紐付けるための仕組みで、IIJ DNS アウトソースサービスは、お客様が独自ドメイン名を利用する際に必要となるDNSサーバを、IIJがお客様に代わって運用、管理するサービスです。本オプションをご利用いただくことで、DNSサーバの運用と合わせて、Webサイトの可用性向上を一括で実現します。

本オプションの主な特徴は以下のとおりです。

Webサイトの安定稼働を実現

本オプションでは、お客様のWebサーバを常時監視し、メインサーバがダウンした場合に、メール/電話で通知するとともに、アクセス先をあらかじめ設定された予備サーバへ自動的に振り分けます。障害や突発的なアクセス集中によるサーバダウン時でも、Webサイトの可用性を高めることが可能です。

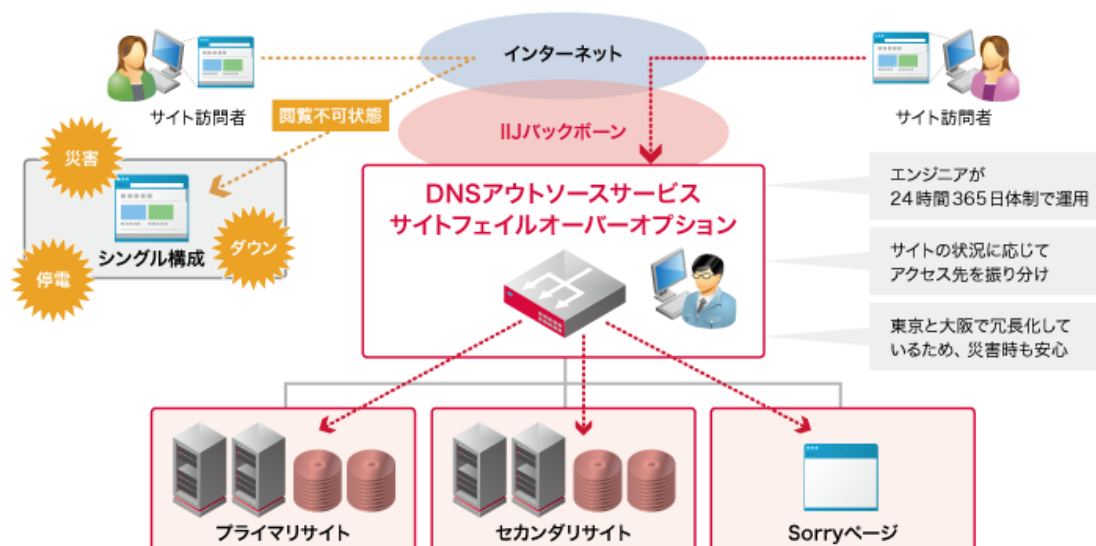
事業継続(BCP)・災害復旧(ディザスタリカバリ)対策を容易に実現

DNSの機能を利用するため、遠隔地にWebサーバを用意するだけで、お客様は自社でロードバランサなどといった専用設備をもつことなく、簡単にディザスタリカバリを実現できます。監視が可能なネットワーク上であれば、国内に限らず、国外に設置されたバックアップサイトでも対応が可能です。さらに、IIJのクラウドサービス「IIJ GIO サービス」を利用してバックアップサイトを構築することで、安価に、またワンストップでの対策も可能になります。

DNSドメイン管理と合わせた一括管理が可能

監視対象のWebサーバのIPアドレス登録やアクセス先振り分け設定、サイトの稼働状況、システムログなどの確認は、すべて専用のWeb画面上から行えます。DNSレコードの登録、更新など、トップレベルドメイン(TLD)を含めて一括で管理が可能のため、運用負荷を抑えることが可能です。

■IIJ DNS アウトソースサービス サイトフェイルオーバーオプション イメージ図



また、本オプションのリリースにあわせて、2015年3月16日(月)～6月30日(火)まで、「落ちないWebサイト応援キャンペーン」を実施いたします。

<キャンペーン概要>

実施期間：2015年3月16日(月)～6月30日(火)

対象：IIJ DNS アウトソースサービス サイトフェイルオーバーオプションと、IIJ GIO (ジオ) サービスのうちキャンペーン対象となるサービス・品目を、新規で同時にお申込みいただいたお客様

内容：対象サービスすべての初期費用無料および月額費用最大2か月無料

詳細はキャンペーンサイト(URL: http://www.ij.ad.jp/svcsol/campaign/sfo_201503.html)をご覧ください。

IIJ では今後も安定した Web サイトの運用に向けて最適なサービスを提供してまいります。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 増田、小河

TEL: 03-5205-6310 FAX: 03-5205-6377

E-mail: press@ij.ad.jp URL: <http://www.ij.ad.jp/>